

米国景気に加速の兆し

ポイント① 年前半に高成長の公算高まる

米国では大規模な財政政策により景気加速の兆しが見えます。昨年3月の新型コロナ危機対策による支給はほとんど貯蓄に回りましたが、家計のコロナ禍への対応が進んだことで、昨年末に成立した対策第2弾は、1月の個人消費支出を押し上げました。

アトランタ連銀とニューヨーク連銀は、1-3月期の実質GDP（国内総生産）成長率を前期比年率換算値（前期比変化率を1年当たりに換算した値）で両者とも+8%台と、10-12月期の+4.1%から加速すると推計しています（3月5日時点）。さらに間もなく成立する見通しの経済対策第3弾により、4-6月期の実質GDP成長率も高くなりそうです。

ポイント② 物価上昇圧力の高まり

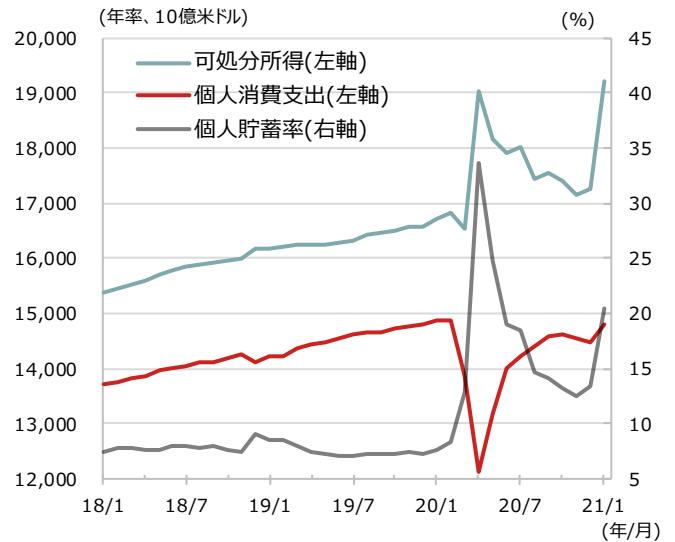
景気加速で原材料、エネルギーなどの商品価格が上昇し、物価上昇圧力を高めています。企業の投入価格の動向を示す米ISM（サプライマネジメント協会）製造業仕入価格指数は、2月には2008年7月以来の高水準に上昇しました。物価上昇圧力の高まりを反映して債券利回りは上昇（価格は下落）し、株式市場も不安定になっています。

ポイント③ 雇用回復の遅れ

2月の米雇用統計によれば、非農業部門就業者数は前月比37.9万人増と市場予想や前月を上回る伸びとなりました。しかし、失業率の低下は小幅な上に職探しをあきらめて失業者に算入されない人が多く、雇用回復は遅れがちです。FRB（米連邦準備制度理事会）やバイデン政権は金融・財政刺激策を続けて雇用回復を図る構えですが、それによって物価上昇圧力が一段と高まると、債券・株式市場の動揺が大きくなる可能性があり、注意が必要です。

図1：米個人可処分所得・消費支出・貯蓄率

期間：2018年1月～2021年1月、月次

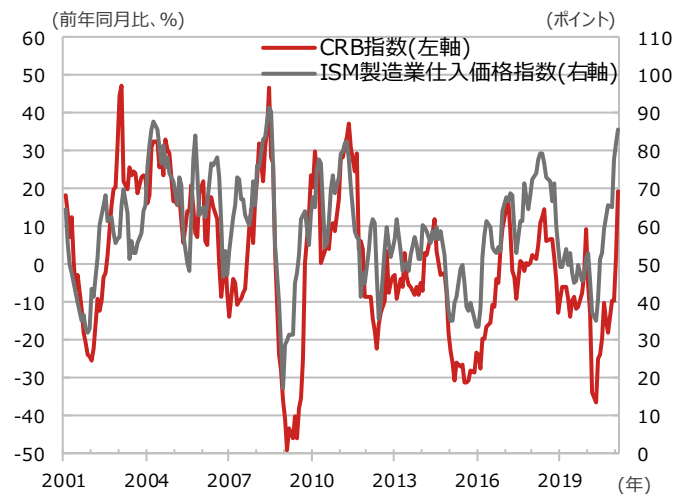


(出所) 米商務省経済分析局サイト

(https://apps.bea.gov/iTable/index_nipa.cfm) より野村アセットマネジメント作成

図2：商品価格と米ISM製造業仕入価格指数

期間：2001年1月～2021年2月、月次



(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要イベント

3月10日	米消費者物価指数 (2月)
3月16日	米小売売上高、米鉱工業生産指数 (2月)
3月17日	米金融政策発表

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。